

私は耳が不自由です
↑ 戸田市議会議員 無所属 42歳
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ 佐藤 太信



↑
バリアフリー
実現!

HPはコチラ



- 昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴 ●戸田東小学校卒 ●戸田東中学校卒 ●県立浦和商业高校
- 中央大学法学部卒 ●大正大学院修了(臨床心理学) ●CAオーロニカレッジ留学
- 東京電力入社(安全管理業務) ●児童福祉施設(社会福祉法人)
- 都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談)

【所属】戸田市身体障害者福祉会会長、福祉で災害ネットワーク会長、戸田市聴力障害協会
 【資格】臨床心理士、第二種電気工事士 【座右の銘】継続は力なり
 【家族】妻(バイオリニスト)、猫5匹 趣味:陶芸、ランニング
 【発行】佐藤太信 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目5-4-15 TEL/FAX 048-494-6439

ホームページ

<https://satotakanobu.com/>

メール

info@satotakanobu.com

ご挨拶

本年1月を過ぎ、市議会議員2期目として折り返し地点となりました。皆様方には日頃の活動をお支えいただき感謝申し上げます。さて、ロシアのウクライナ侵略は現在も続いており、燃料費や価格高騰により私たちの生活に大きな影響を与えています。子育て中の方々、高齢者、障がい者等、幅広い世代に行き渡るような政策を皆様と共に考えてまいります。お気づきの事など何でもかまいませんので、ご意見やご要望お寄せいただくと幸いです。

活動報告・ご意見対応

県議選選挙公報



選 挙時に候補者を選ぶ際に活用される選挙公報について、視覚障害者に対する伝える手段が保障されていません。県職員である副市長、こんの県議を通して改善を要望、次回の県議選より希望者へ点訳・音訳による選挙公報が配布されることになりました。

縁石改修



新 曾福祉センター(西)交差点から西側の道路において、ベビーカー利用者が車道から歩道に入れない為、危険であるとのご意見を伺い、現地の状況を確認しました。市担当課に歩行環境の整備をお願いし、改修されました。歩行者が安全に通行できる環境整備を進めてまいります。

ブロック塀の改修



通 学路にブロック塀が破損している箇所があり、県担当課より所有者に連絡していただきました。ブロック塀の改修工事を施していただき、子どもが安心して通学できる環境整備を進めていただきました。

活動報告・視察

まほろ和光南視察



和 光市にある生活介護の他、ヘルパーステーション、放課後等デイサービスを運営されている「まほろ和光南」を見学いたしました。戸田市内に、土や祝祭日まで預かっていただけの施設は多くはないといった課題を伺いました。

公民館まつり



12 月は美笹、新曾、下戸田公民館まつりに伺いました。各サークルの取り組み状況を伺い、作品を見てきました。写真は、絵手紙教室による体験したところです。絵が下手な私でも上手く見せるコツを教わり、みかんを書くことができました。

雨水貯留施設



昨 年10月30日に東京都下水道局和田ポンプ施設を視察、地下50mに建設され、貯留管の導入に際しては振動や騒音対策をしっかりと対策されていることを確認しました。戸田市は地下約10mに雨水貯留管を整備し、約26,000m³の雨水を貯めることができます。



① 視覚障害者の歩行環境の整備を！

視覚障害者の方より点字ブロックがない歩道の障害物は、白杖を使用してもわかりにくく、歩行環境改善してほしいと相談を受けました。

- Q** ①点字ブロック、車止めポールの整備を。
 ②エスコートゾーン設置を。
 ③点字ブロックの設置・管理にあたり不適切な事例を繰り返さないよう、職員が異動しても対応できるようガイドライン等の作成を。



- A** ①歩道を対象とした臨時巡回を実施し、点字ブロックが不適切に設置されている箇所を点検する。車止めポールは、横断歩道から歩道に動線を妨げないよう配慮する。
 ②市内にエスコートゾーンはなく、警察と連携して今後設置を検討する。
 ③国のガイドラインと整備事例によって、技術の継承に努める。



市役所前歩道の様子。
ポールの向きが一定ではありません。

エスコートゾーンの様子。
警察と連携し今後設置を進めます。

② 障害福祉課に専門職の配置を！

- Q** 障害者施策を多角的な視点で考えるために、計画策定を含め「障害者施策」の推進を担う専門知識や経験を有する職員の採用を検討しては。明石市では事例があり、任期付採用により障害福祉分野に知見のある車椅子当事者を採用していました。

- A** 当事者視点を持つ職員の採用は有効な手段と考える。総務部と調整して検討する。



① 主権者教育、障がい者への選挙投票支援を！

東京都狛江市は「総合的な主権者教育の計画」を策定し、障がいの有無に関わらず、すべての子どもたちをはじめとした当事者が、社会的意思決定を学ぶ取り組みを進めています。戸田市は、戸田かけはし特別支援学校が新設されたことで今後の連携を提案しました。



- Q** ①若年層の政治参加への意識を高めるため、主権者教育の推進に向けた計画策定を。
 ②投票所のバリアフリー状況について把握と周知を。
 ③知的障害者への支援を。
 ④戸田かけはし特別支援学校との連携を。



- A** ①関係部局間で連携の構築に向け、取組の推進に向けた役割分担や連携できる取組内容と実施時期等について協議を進める。
 ②手すりや車椅子等の設置状況を調査し、市ホームページ等で公開する。
 ③投票事務従事者マニュアルに対応を明記し、事前研修時に投票事務従事者に周知する。
 ④当事者からのご意見やアドバイスを伺い、必要な支援につながることから連携して取り組みを進めたい。



② 「戸田市手話言語条例」施策実施の効果検証を！

- Q** ①ふるさと祭り、戸田マラソン大会時に手話通訳者が配置されていない時間帯があったので改善を。
 ②イベント開催時に手話通訳の有無について事前周知を。
 ③条例制定後の振り返りのために当事者の声を。

- A** ①②手話通訳者の活用について各課に周知する。
 ③条例制定後の振り返りのために当事者団体のヒアリングを実施するなど、今後の施策や計画策定の参考にする。



最後までお読みいただきありがとうございます。市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

メール info@satotakanobu.com TEL/FAX 048-494-6439

